

令和4年7月5日(火)  
愛知県公立大学法人 愛知県立大学  
担当 学術情報部 研究支援・地域連携課  
尾澤・稲生  
電話 0561-76-8843  
E-mail renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

公開講座「モスク・教会・葬儀会館の視点から  
異文化『終活』を考えるセミナー(その3)」のお知らせ

愛知県立大学は、地域社会への貢献や生涯学習に向けた取り組みの一つとして、これまでに蓄積された研究成果を広く社会に還元するため、以下のとおり公開講座を開催いたします。是非、貴社にてお取り上げいただきますとともに、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

【題 目】「モスク・教会・葬儀会館の視点から  
異文化『終活』を考えるセミナー(その3)」

【概 要】 外国人高齢者は毎年増えています。日本で人生を終える人も増えていくと考えられます。“弔い”に対する考え方は、文化や宗教、習慣、価値観のちがいによって様々です。多文化社会では、こうしたことを十分に理解することが大切です。異文化「終活」は、今後考えていかなければならない課題です。

一昨年度はブラジル、インドネシア、中国にルーツのある方から、昨年度は韓国・朝鮮、フィリピン、ベトナム、ネパールの方から「終活」についてお話をうかがいました。今年度はモスク・教会・葬儀会館の視点から在日外国人の“弔い”事情について報告していただきます。

このセミナーが、今後の取り組みにつながるよう、参加者といっしょに考えていきたいと思っております。

【登壇者】 サラ・クレシ好美氏(名古屋モスク)  
松浦 悟郎氏(カトリック名古屋教区)  
鶴野 智教氏(株式会社ティア)  
※諸事情により、登壇者が変わる可能性があります。

【日 時】 2022年8月21日(日) 13時30分から16時30分まで

【方 法】 Zoomでのオンラインミーティング(定員100名、先着順)

【申込方法】 8月16日(火)までに、本学地域連携センターウェブサイト  
(<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>) にアクセスいただき、「異文化『終活』を考えるセミナー(その3)」から所定の申込フォームに情報をご入力ください。

【参加費】 無料

【共 催】 愛知県立大学(生涯発達研究所・地域連携センター)、  
外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)



モスク・教会・葬儀会館の視点から

異文化「終活」を考えるセミナー (その3)

外国人高齢者は毎年増えています。

日本で人生を終える人も増えていくと考えられます。

“吊い”に対する考え方は、文化や宗教、習慣、価値観のちがいによって様々です。

多文化社会では、こうしたことを十分に理解することが大切です。

異文化「終活」は、今後、考えていかなければならない課題です。

このセミナーが、今後の取り組みにつながるよう、モスク・教会・葬儀会館の視点から

参加者といっしょに考えていきたいと思えます。

日時：2022年8月21日 (日)

13:30~16:30

(Zoomでのオンラインミーティング)

ZOOM 開催  
参加無料

定員：100名 (先着順)

1 趣旨説明

王榮 (木下貴雄) 氏 (外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト代表)

2 在日外国人の「吊い」事情

モスクの場合：サラ・クレシ好美氏 (名古屋モスク)

教会の場合：松浦悟郎氏 (カトリック名古屋教区)

葬儀会館：鵜野智教氏 (株式会社ティア)

3 ディスカッション

※諸事情によって、登壇者が変わることがあるので、予めご了承ください。

参加を希望される方は、8月16日 (火) までに、以下の方法でお申し込みください。

●愛知県立大学 地域連携センター Web申込システム

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/regionalalliances/0011319.html>

問い合わせ先：愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課

E-mail: [renkei@bur.aichi-pu.ac.jp](mailto:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp)



共催：愛知県立大学 (生涯発達研究所・地域連携センター)

外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、  
多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)